

もしもまた、地震や津波がやってきたら・・・

地震や津波が起こったとき、

どうすれば自分の命を守ることができるのでしょうか。

どうすれば大切な人を守ることができるのでしょうか。

そのためには、東日本大震災の教訓や副読本などで学んだことをいかしていくことが大切です。

しょうらいの自分や大切な人を助けることができるのは、
これからのあなたです。



下の作文は、当時小学生だった児童が、5年後の自分にあてた手紙です。震災のときの思いとこれまでのけいけんや学習してきたことなどを手紙に書き、しょうらいの自分に震災の教訓を伝えています。

『5年後の私へ』

東日本大震災を覚えていますか。2年たった今でも、3月11日のことはしっかりと覚えています。大震災で学んだこと、それは逃げ道をお母さんと確認すること、津波注意報が出たらすぐに山や学校に逃げることです。

忘れていませんか。かならず忘れずにいてください。

悲しいこと、つらいことがあっても家族で乗りこえてください。

そして、このことを多くの人に伝えていってください。

そのことがみんなにわかるようにお願いします。

（「備えの手紙—5年後のわたしへ、家族へ」より）河北新報社

